

和歌山だより

2026年 第190号
(令和8年)



観光筏下り（北山村）

切り出した木材を筏に組み、川を流して下流の新宮市まで運搬する手段であった筏流し。熟練の筏師が伝統技術を駆使して操る全長30メートルある筏に乗り、大自然の神秘やスケールが生み出すスリルと感動を体感できることから大変人気のアクティビティとなっています。（写真提供：公益社団法人和歌山県観光連盟）

CONTENT

- | | | |
|---|----------------------|------------|
| 1 | 知事メッセージ | p. 1 |
| 2 | 和歌山県政トピックス | p. 2 ~ 15 |
| 3 | お知らせ | p. 16 ~ 21 |
| 4 | ふるさと歳時記 | p. 22 ~ 23 |



カイロスロケットの打上げ

『〇月〇日〇時〇分、カイロスは美しい軌道を描きながら上空をめざし、そして宇宙へ飛び立ちました。衛星の切り離しも成功し、無事ミッションに成功しました。カイロスの姿に、多くの皆さまとともに心躍らせました。』

このような物語が、夢ではなくもう目前に迫っています。今回の3度目の挑戦は未達成でしたが、スペースワン社の皆さまが取り組まれている果敢な挑戦に、改めて敬意を表します。また、当日会場に来てくださった皆さまをはじめ、地元や関係者の皆さまなど、多くの方々から温かい応援とご協力をいただいていることに心からお礼申し上げます。

カイロスは、機体から人工衛星を切り離し、宇宙へ送り出すことをミッションとしています。成功すれば、民間単独で開発されたロケットとして国内初となるもので、日本の宇宙産業にとっても大きな意義を持つ挑戦です。何より和歌山県にとって周辺地域への産業集積など無限の可能性を秘めています。

ロケット打上げは、多くの挑戦とそれと同数の未達が必要です。これまでの経験の一つ一つが次の飛躍の糧となり、打ち上げ成功につながると信じています。

これからも地元の皆さまをはじめ、多くの方々と共に、カイロスの挑戦を温かく見守り、応援していきたいと思えます。

和歌山県知事 宮崎 泉



4/6 定例記者会見にて

●第1回「和歌山一番星アワード」認定商品が決定しました!!

「和歌山一番星アワード」は、選び抜かれた県産品を全国、そして世界へ届ける」というビジョンのもと、優れた県産品を厳選して認定し、全国及び世界に向けて推奨することにより、認定商品の認知度向上、販路拡大はもとより、県産品の品質向上や製造技術の向上、新たな県産品の創出、そして、県内産業全体の発展につなげることを目的とした制度です。

和歌山県内で製造されたもの、高品質、安心・安全を重視したものを基本としながら、商品の背景にある想いや物語が、人々の心を動かすものかという「共感性」、他にはない、独自の魅力や技術が光っているかという「独自性」、そしてその商品が和歌山の未来を切り開いていく力をもっているかという「可能性」、これら3つの評価軸を選定基準としています。

昨年7月から事業者の皆さんの申請を受け付けたところ、117商品の申請を頂きました。その後、外部有識者で構成する和歌山県推奨県産品審査委員会（審査委員長：^{あいはらりさ}栗飯原理咲さん）で、実際に食べて、飲んで、触れて、審査を行い、この度20商品を記念すべき第1回の「和歌山一番星アワード」認定商品として決定しました。



和歌山
一番星
AWARD

公式ロゴマーク



受賞者の皆さん

さらに、2月20日に東郷記念館（東京都）で開催した「和歌山一番星アワード」第1回認定商品発表会には、メディアや流通業界関係者など約90名の方々に御参加いただきました。発表会では、認定事業者がブースを構え、展示、試食、試飲による商品PRや来場者との情報交換を行う展示交流会を実施するとともに、あらかじめ選考された審査委員特別賞（グランプリ候補）事業者による商品のプレゼンテーションの後、来場者及び審査委員会審査委員の投票によってグランプリ・準グランプリ商品を決めました。

なお、認定商品の概要は次頁以降を御覧ください。

今回認定された 20 商品は、胸を張って皆さんにおすすめできる商品ばかりです。魅力あふれる認定商品を是非手に取っていただき、その素晴らしさを感じていただきたいと思います。

県では、和歌山県産品のブランド力向上のため、厳選された認定商品を、和歌山を代表する「一番星」として、全国そして世界に向けて情報発信するとともに、展示会への集団出展、大手 EC サイト上での WEB 物産展の実施のほか、わかやま紀州館（東京都）と連携した販路拡大の支援等に全力で取り組んでいきます。

和歌山一番星アワード 第 1 回認定商品一覧

紀州 梅真鯛梅 (グランプリ受賞)

株式会社岩谷

〒649-3633

東牟婁郡串本町大島284-1
0735-65-8011



甘酢みそで味付けした紀州産真鯛のほぐし身を紀州南高梅で包んだ「紀州 梅真鯛梅」。

梅の程よい酸味と真鯛の上品な旨味が重なり合い、ご飯やお茶漬け、酒肴としても完成度の高い味わいを生み出します。和歌山を代表する海と山の味覚を一粒に凝縮した、贈答品としても高い評価を受ける逸品です。

審査委員長コメント

和歌山の名産品である梅を開けると鯛が入っているという意外性と遊び心、そして和歌山の海と山の恵みが両方同時に味わえるという贅沢さ、そして、おめでたいをもちって「うめでたい（梅で鯛）」という、贈り物にもぴったりの語呂合わせ、ネーミングのすばらしさが評価されました。

受賞者コメント

栄えある賞を頂戴し、大変光栄に存じます。

紀州 梅真鯛の魅力を一人数でも多くの方々に知っていただきたいという思いから、この商品の製造に取り組みました。

商品づくりに携わっている地域の方々と喜びを分かち合うとともに、いただいた賞を励みに、引き続き、和歌山の海と山の食材の魅力、そして産地の魅力を、本州最南端の串本町から発信していきたいです。



デラックスケーキ
(準グランプリ受賞)

有限会社鈴屋

〒646-0031
田辺市湊15-11
0739-22-0436



和歌山・田辺で百年近く愛され続けてきた鈴屋。鈴屋が作る「デラックスケーキ」はしっとりと重みのあるカステラに、白いんげん豆の自家製ジャム、そして全体を包むホワイトチョコレート。受け継がれてきたこの菓子は、土地の時間と人々の記憶を静かに纏う存在です。銀紙をほどくひとときに、控えめで確かな贅沢が立ち上がります。

審査委員長コメント



「和洋折衷」というコンセプトが、時代をこえて、なお新しい。

昭和レトロを思わせる、創業以来変わらないかわいらしいパッケージもSNSでの発信力がある。

県内では圧倒的知名度があるが県外ではまだ知られていないので、非常に伸びしろ・可能性がある商品。

近大キャビア
(審査委員特別賞受賞)

株式会社アーマリン近大

〒649-2211
西牟婁郡白浜町1-5
0739-42-4116



熊野の山々の清冽な伏流水と、三十年以上にわたる研究が結実した近大キャビア。採取したての魚卵を岩塩のみで仕上げ、加熱も防腐剤も用いない製法により透明感ある旨味と、とろける食感を実現しました。自然と科学が静かに調和する、日本発のラグジュアリーキャビアです。



Premium Taste uetomo
(審査委員特別賞受賞)

株式会社上友農園

〒649-0313
有田市千田2189
0737-20-4512



和歌山・有田でみかんをつくり続けて百余年。理想の「一杯」を求め、樹上で完熟させたみかんの中から糖度12度以上のものだけを原料として厳選しました。雑味を排すため全て外皮を剥き、果肉だけを搾り上げる贅沢な製法を採用。濃厚な甘みと、澄んだ後味。長い歳月と職人の矜持が結実したみかんの「真髓」を、ご堪能ください。



胡麻豆腐 (審査委員特別賞受賞)



株式会社濱田屋

〒648-0211
伊都郡高野町高野山444
0736-56-2343

世界遺産・高野山で磨かれてきた精進料理の要、胡麻豆腐。明治三十八年創業の濱田屋は、百余年にわたり山内で胡麻豆腐一筋のものづくりを続けてきました。白胡麻、吉野本葛、高野山の天然水のみを用い、祈りとともに練り上げる一品は、滑らかさと弾力、そして澄んだ後味を併せ持つ、高野山精進料理の逸品です。



原酒梅酒



株式会社東農園 (五代庵)

〒645-0021
日高郡みなべ町東本庄836-1
0739-74-2487

梅の郷・和歌山県みなべ町で、百九十年にわたり梅と向き合ってきた東農園 (五代庵)。その結晶が、自社農園で育てた完熟南高梅のみを用い、一切加水せずに仕立てた「原酒梅酒」です。華やかな香りと濃密な果実味が重なり、ひと口ごとに梅の風味が立ち上がる、原点回帰の贅沢を味わえます。

全方位スピーカー Kaguya



ウメダ電器

〒640-8375
和歌山市坊主丁10
073-422-1263

和歌山の里山に育つ竹と、音響技術の粋が出会い生まれた全方位スピーカー。360度すべての方向へ均一に音を放ち、聴く位置を選ばず、空間そのものに響かせます。乾留竹がもたらす澄んだ高音と温かな低音が、日常を静かなコンサートホールへと変えていきます。

紀州南高梅 ひつまぶし



太田商店

〒646-0036
田辺市上屋敷1-1-35
0739-22-0847

老舗鰻屋の技と、紀州南高梅の酸が会い、生まれたのは驚くほど軽やかな贅沢でした。ふっくらと焼き上げた国産鰻に、かつお・こんぶ・しそ三種に仕立てた南高梅を重ねることで、脂と酸は互いを引き立て合います。まずはそのまま、次に薬味、最後は出汁茶漬けへ。一膳の中で味わいが完成していく構成は、計算し尽くされた美食の設計図。記憶に残る余韻をもたらします。

濁り醬

株式会社角長

〒643-0004
有田郡湯浅町湯浅7
0737-62-2035



醤油発祥の地・和歌山県湯浅で、180余年にわたり木桶醸造を守り続ける老舗・角長。その原点に立ち返り、圧搾も火入れも行わず、諸味から自然に滴る上澄みだけを瓶詰めしたのが「濁り醬」です。時間と微生物に委ねて生まれる香りと旨味は、醤油の始まりを今に伝える静かな贅沢です。

紀州墨

紀州松煙

〒646-1101
田辺市鮎川1912
0739-49-0801



和歌山の山に育つ赤松を焚き、その煤を一粒ずつ集めて生まれる紀州墨。千年以上続く松煙墨の系譜を今に伝える、日本で稀有な存在です。障子焚きによって得られる青みを帯びた墨色は、深さと透明感を併せ持ち、書や水墨画に静かな緊張と余韻をもたらします。磨る時間さえも美へと変える、本物を知る人のための墨です。

紀州あせ葉寿司
(鯛)

株式会社笹一

〒640-8411
和歌山市梶取20-2
073-452-3311



山と海が近接する和歌山に育まれてきた、保存の知恵と香りの寿司文化。その象徴である紀州あせ葉寿司は、あせ葉をほどいた瞬間に立ちのぼる清らかな香りから始まります。加太の鯛の上品な旨味、南高梅が生む穏やかな酸味が重なり、心地良い余韻が静かに続く。紀州の風土と時間を味わうための一貫です。

たなべえサンド

旬彩居酒屋膳

〒646-0031
田辺市湊25-16
0739-26-8551



厚切りロースカツの旨味を、梅のやさしい酸味で整える。その発想から田辺市で生まれたカツサンドです。ボリューム感のあるサンドイッチでありながら、重さを感じさせない後味は、田辺ならではの工夫の賜物。地元食材と料理人の感覚が生んだ、食事としても満足度の高い一品です。

ボンボンショコラ 「カカオ醬」



認定特定非営利活動法人
ジョイ・コム

〒641-0054
和歌山市塩屋4-6-57
073-446-2311

千二百年続く湯浅の発酵文化を、現代の感性で結晶させた「カカオ醬」。醤油に漬け込み熟成させたカカオ豆の旨味を、ショコラとして丁寧に仕立てました。主張しすぎないのに、確かな印象を残す味わいは、土地の記憶を内包した証。贈る人の審美眼を静かに語る一粒です。

さんま姿寿司



徐福寿司

〒647-0020
新宮市徐福1-6-24
0735-22-8893

熊野灘に面した和歌山県新宮市で、千五百年以上受け継がれてきた郷土料理「さんま寿司」。徐福寿司のさんま姿寿司は、頭から尾まで一匹を丸ごと用い、背開きと一晚の熟成によって旨味を引き出した一本です。保存料を用いず、素材と手仕事だけで仕上げるその味わいは、熊野の時間と暮らしを静かに伝えます。

YETI (イエティ)



杉村繊維工業株式会社

〒649-7205
橋本市高野口町名倉619
0736-43-0660

和歌山・高野口の繊維技術から生まれた、不思議で愛らしい存在。世界的にも評価されるエコファーを用い、職人の手で一点一点仕立てられたYETIは、単なる雑貨でも、単なるぬいぐるみでもありません。撫でた瞬間に伝わる上質な手触りと、どこか人懐こい佇まい。日常の空間に、静かな温もりと物語をもたらすプロダクトです。

そのまんま梅の床



てらうめ有限会社

〒645-0014
日高郡みなべ町西岩代1204
0739-72-5105

和歌山県みなべ町の梅農家・てらがき農園が手がける「そのまんま梅の床」は、紀州南高梅の梅酢と果肉を余すことなく活かした発酵調味料。野菜を漬け込むだけで、南高梅特有の爽やかな酸味と旨味が素材に染み渡り、化学調味料に頼らない奥行きある味わいを実現。伝統的な保存の知恵と、現代の食生活に寄り添う手軽さを兼ね備えた一品です。

和歌山コッペ
みかん



名方製パン株式会社

〒641-0015
和歌山市布引774
073-444-6418

明治36年創業、和歌山市で120年以上にわたり地域の食を支えてきた名方製パン。その歴史の中で培われたやさしいパンづくりの技に、和歌山県産みかんの魅力を重ねたのが「和歌山コッペ みかん」です。ふんわりとした生地と、香り高いみかんジャムが調和し、世代を問わず親しまれる味わいに。日常の食卓に、和歌山らしい上質な彩りを添える一品です。

わかやまポンチ



株式会社ふみこ農園

〒643-0031
有田郡有田川町野田594-1
0737-53-2350

果樹王国・和歌山が誇る特産果実を一度に楽しめるフルーツデザート。梅、温州みかん、八朔、若桃を、透明感のある上品なジュレで包み込み、それぞれの風味と食感を引き立てました。見た目の美しさと安定した品質を兼ね備え、和歌山を代表するギフトスイーツとして国内外で評価されています。

みんなの梅仁豆腐
365



Restaurant
Caravansarai

〒646-0101
田辺市上芳養595
0739-33-9990

田辺市のフレンチレストランが生み出した、梅の種の中の「仁」に着目して生まれた杏仁豆腐です。南高梅の仁がもつ上品な香り。素材の個性を引き出すため、牛乳や寒天の配合まで細やかにレシピ化。とろける口当たりと特有の香りが、梅の新たな魅力を感じさせてくれます。

特選牛ハヤシビーフ



有限会社レストラン
フライヤ

〒640-8128
和歌山市広瀬中ノ丁1-7
073-422-0115

世代を超えて親しまれてきた、和歌山の老舗洋食店「フライヤ」の味。当店の人気定番メニュー「特選牛ハヤシビーフ」は、九十余年変わらぬ製法で守り続けてきた秘伝のドビソースをベースに、国産牛と玉ねぎの旨味を丁寧に引き出した一品です。あえて冷蔵で提供することで、香りやコクを損なわず、お店で提供する一皿の完成度そのままに食卓でお楽しみいただけます。

●大相撲三月場所で「和歌山県知事賞」を贈呈しました

3月8日から22日までエディオンアリーナ大阪で開催された大相撲三月場所の幕内優勝力士に対し、和歌山県知事賞を贈呈しました。

3月22日の千秋楽に行われた表彰式において、14場所ぶり3度目の優勝を果たした関脇霧島に、知事から本県の特産品である根来塗の大盃と保田紙で作成した賞状を贈呈しました。また、副賞として、和歌山県産の果物の中から、味一プレミアムみかん、あら川の桃、新秋柿をそれぞれ旬の時期にお届けしていきます。



表彰式で関脇霧島に賞状を授与する知事

県では、古くから相撲競技に力を入れており、多くの力士を輩出してきました。今後、本県出身力士にも、是非和歌山県知事賞を知事から受け取っていただければと思っています。

●カイロスロケット3号機の打ち上げについて

2度の延期を経た3月5日、遂にカイロスロケット3号機が打ち上げられました。しかし、残念ながら途中で飛行中断措置が取られました。

カイロスロケット3号機は5基の小型人工衛星を搭載し、宇宙空間に到達後、各衛星を軌道上に順に放出する「軌道投入」を目指すミッションでしたが、今回は達成に至りませんでした。

幾多の困難に向き合い、民間ロケットとして日本初の事業に挑み続けるスペースワン株式会社の姿勢は大変意義深いものと考えています。今回の結果を糧に、是非とも次回こそミッション完遂を期待しています。

県では引き続き、ロケット打上げを全力でサポートします。これからも県内外の皆さんの御支援をよろしくお願いします。



青空に向かって打ち上げられたカイロスロケット3号機

●世界をめざして!!～第17期ゴールデンキッズ修了式を開催しました～

この度、将来トップアスリートとしての活躍が期待される「ゴールデンキッズ」第17期生30名が3年間の育成プログラムを修了しました。

「ゴールデンキッズ発掘プロジェクト」は、県内の優れた運動能力を有するこどもを対象に、成長段階に応じたプログラムを実施する事業です。17期生を含め、これまで計628人が修了し、多くの修了生が国際大会や全国大会で活躍しています。



修了証を手にする第17期生の皆さん

3月15日の修了式では、知事から修了証書授与の後、「素晴らしいアスリート、大人になって和歌山県を引っ張ってほしい」と言葉を贈り、西莉愛にしれいあさんと江頭奏音えがしらかのんさんが「ゴールデンキッズでの経験を糧に、常に高い目標を掲げ、トップアスリートを目指して努力を続けます」「ゴールデンキッズでの学びを力に、どんな挑戦にも前向きに取り組みます」と力強く「代表のことば」を述べました。

なお、ゴールデンキッズ発掘プロジェクトは第17期生をもって終了しましたが、これまでの知見を踏まえ、2024（令和6）年度からは対象学年や定員を拡大し、「和歌山県スポーツマッチングプロジェクト～やっChar!!～」を新たにスタートさせています。この新たなプロジェクトでは、運動が得意なこどももそうでないこどもにもスポーツに親しむ機会を提供し、自身の特性を発見できるように方向性を見直しました。

県では、今後もチャレンジするこどもたちを全力で支援していきます。

■ゴールデンキッズ修了生の2025(令和7)年度の主な活躍 (敬称略)

期	競技名	氏名	大会名/成績
3	野球	泉口 友汰	2025セントラル・リーグ/3位 ゴールデングラブ賞&ベストナイン賞 受賞
5	野球	中島 大輔	2025パシフィック・リーグ/4位 4試合連続三塁打(7/5~7/9) *日本記録タイ
5	トライアスロン	武中 香奈枝	アジアトライアスロンカップ2025蒲郡/優勝
8	ボクシング	吉田 姫菜	2025全日本ボクシング選手権大会/女子フライ級 2位
8	サッカー	北野 颯太	アドミラル・ブンデスリーガ
11	陸上	渡辺 敦紀	第78回全国高等学校陸上競技対校選手権大会/男子4×400mR 優勝
14	陸上	小畑 千愛	第52回全日本中学校陸上選手権大会/女子走幅跳 優勝
17	陸上	南方 翔	日清食品カップ第41回全国小学生陸上競技交流大会/男子100m 3位

●香港（1/22～23）、インド・ネパール（2/12～17）を訪問しました

宮崎知事は、1月22日（木）～23日（金）の日程で香港を、2月12日（木）～17日（火）の日程でインドとネパールを訪問しました。

（1）香港訪問 1月22日（木）～23日（金）

EGL ツアーズ本社訪問

■日 時：1月22日（木）17時00分～20時00分

■場 所：EGL ツアーズ本社

知事は、香港における訪日団体旅行の取扱いが最大で、和歌山県へ多くの団体旅行客を送客いただいている EGL ツアーズ本社を訪問しました。

昨年8月に和歌山県の観光大使であった袁^{エン}社長が逝去されたことに対して、深い哀悼の意を表するとともに、新体制となった EGL ツアーズのスティーブ社長に対して、今まで以上に両者の関係を発展させていきたい旨を説明しました。



スティーブ社長（中央）と知事

本県のインバウンドの取組において最も重要な地域の一つである香港において、成長を続ける EGL ツアーズとの関係をより一層強化できたことで、今後の本県への更なる観光客誘致につながることを期待されます。

（2）インド・マハラシュトラ州訪問 2月12日（木）～14日（土）

マハラシュトラ州観光開発公社との意見交換

■日 時：2月13日（金）10時00分～11時00分

■場 所：マハラシュトラ州観光開発公社

知事は、マハラシュトラ州との覚書に係る窓口となる同公社を訪問しました。ニレーシュ・ウシャタイ・ラメシュ・ガトネ マネージングディレクターとファミツアーの実施をはじめとする今後の交流について意見交換を行いました。



意見交換の様子

マハラシュトラ州首相及び州議会下院議長との意見交換

■日 時：2月13日（金）12時00分～13時30分

■場 所：タージ・マハル・パレス・ホテル

知事は、和歌山県議会日印交流促進に関する議員の会、ビジネスミッション団、高野町関係者と共に、デヴェンドラ・ファドナビス マハラシュトラ州首相を表敬訪問しました。同席されたラフル・ナーベカル マハラシュトラ州議会下院議長と両県州の更なる交流促進及びあらゆる分野での相互協力の拡大に係る意見交換を行いました。



表敬訪問の様子

インド産業連盟主催ビジネス交流会への参加

■日 時：2月13日（金）17時00分～19時00分

■場 所：インド産業連盟

知事は、マハラシュトラ州に本部を置くインド産業連盟主催によるビジネス交流会に参加しました。現地企業に対してビジネスミッション参加の県内企業や県の産業・観光を紹介するなど、今後のビジネス機会創出に向けたプロモーション活動も行いました。

関係の皆さんと知事



(3) ネパール・ルンビニ訪問 2月14日（土）～15日（日）

ルンビニ開発委員会等との意見交換

■日 時：2月14日（土）19時00分～20時30分

■場 所：ルンビニホテル笠井

知事は、高野町とルンビニの更なる発展のために、協定先であるルンビニ開発委員会や地元自治体の関係者を招いて、県とネパールの交流、高野町とルンビニの交流等について意見交換を行いました。

意見交換の様子



高野町・ルンビニ開発委員会の協定に基づく交流

■日 時：2月15日（日）9時00分～12時00分

■場 所：マヤデビ寺院、ルンビニ仏教大学

知事は、マヤデビ寺院を参拝し祈禱を行ったほか、ルンビニ開発委員会担当者から同寺院の歴史的・考古学的重要性や文化遺産保全の取組について説明を受けました。また、ルンビニ仏教大学を訪問し、同大学と高野山大学の学術協力に関する覚書署名式に参加しました。



マヤデビ寺院にて

(4) ネパール・カトマンズ訪問 2月15日（日）～16日（月）

在ネパール日本国大使表敬訪問

■日 時：2月16日（月）10時00分～10時30分

■場 所：大使公邸

知事は、前田徹在ネパール日本国大使を表敬訪問し、大使からネパールの現況及び日本とネパール外交関係樹立70周年の取組について説明を受けました。また、今後の県とネパールの交流について意見交換を行いました。

意見交換の様子



文化・観光・民間航空大臣との意見交換及びネパール観光局との覚書署名式

■日 時：2月16日（月）11時00分～12時00分

■場 所：ネパール観光局

知事は、シンハ文化・観光・民間航空大臣と今後の県とネパールとの交流について意見交換を行ったほか、ネパール観光局とプロモーション活動等観光分野における協力促進を目的とした覚書を締結しました。また、挨拶では、ネパールの方々の来県につながるよう和歌山県のPRを行いました。



覚書締結の様子

●有田地域、日高地域、那賀地域でタウンミーティングを開催しました

1月26日に有田市（千田）、2月26日に御坊市（日高振興局）、3月18日に紀の川市（粉河）においてタウンミーティングを開催しました。

有田市では、まちづくり、こどもの居場所づくり、農業、園芸、教育に携わる方々にお集まりいただきました。

皆さんからは、地域コミュニティの維持や、みんなの居場所づくり、新規就農への挑戦、AIを活用した農業技術の継承、環境に配慮した贈答品の開発などについて、熱い想いを聞かせていただきました。また、今回のタウンミーティングをきっかけに、それぞれが抱える課題を知ることで新たな連携や取組のアイデアが複数生まれました。こういった二次的な効果がより大きな力となっていくことがこの取組の良いところだと考えています。膝を交えて話し合う場を持つことの大切さを改めて認識しました。



参加者の皆さんと知事（有田市）



参加者の皆さんと知事（御坊市）

そして、御坊市では、日高地方で地域づくりに取り組まれている方々と意見交換を行い、創意工夫あふれる様々な取組や提案を聞かせていただきました。

それぞれ活動の分野は異なりますが、皆さん共通して地元への愛着心と熱い想いをもって、地域の宝を次の世代にどう引き継いでいくか真剣に取り組まれている姿が非常に印象に残ると同時に、「地域全体を元気にしたい」という皆さんの志は、和歌山の未来を切り拓く大きな力になると確信し、大変心強く感じました。

紀の川市では、福祉・教育・産業等に携わる方々にお集まりいただき、那賀地域が誇るフルーツを使った飲み物や和菓子を頂きながら、皆さんのお話をお聞きしました。共通して外国人に関する取組や考えを知ることができたことが印象的でした。

観光を通じた関わりは勿論、地域で暮らす外国人の方々が就労先や地域のイベントなどで活躍されている様子も聞くことができました。また、中学校の校長先生がイギリス、中国、マレーシアなどの学生との交流を積極的に進めてこ

られたというお話にも深く感銘を受けました。

外国人と意識的に関わってくださっている方々の存在を心強く感じるとともに、日常の中で交流が広がっていることを嬉しく思いました。地域の皆さんと共に「多文化共生」の社会を築いていけるよう、これからも努めていきます。



参加者の皆さんと知事（紀の川市）

県としましては、今回のタウンミーティングで頂いた貴重な御意見を踏まえ、皆さんの日々の課題解決に協働して取り組んでいきます。

●企業立地等の実績について（1月下旬～4月初旬）

本県の企業立地等の取組について、先号以降の実績を御紹介します。

引き続き、本県のビジネス環境と生活環境の良さを多くの企業にPRし、本県への企業誘致を進めていきます。

株式会社シミズ

大阪府東大阪市に本社を置く電着塗料、めっき、各種表面処理薬品の開発製造の株式会社シミズが、橋本市の『あやの台北部用地』に新たに工場を建設するにあたり、進出協定を締結しました。

同社は、1949(昭和24)年の創業以来、めっきや電着塗料等金属表面処理薬品の開発製造を得意とし、同社の電着塗料を用いた電着塗装プロセス「エレコート」は、眼鏡フレーム、建材、スマートフォンやPC等の意匠性だけでなく、自動車部品や半導体などの電子部品での機能性でも高い評価を受けており、多様な製品の製造工程で使用されています。

また、青化物（シアン化物）等の有害物質を使用しないめっき薬品の開発にも力を入れ、金属アレルギー対策をはじめとした環境対策対応型のめっき薬品として使用されています。

重金属や有害物質を使用しない環境負荷の低減に資する製品開発を行うことで、半導体、自動車、産業機械等あらゆる産業分野で需要が伸びており、今回、生産能力を現状の3倍に引き上げることを目指し、橋本市に新工場を建設する運びとなりました。

■企業概要

企業名：株式会社シミズ
 代表者：代表取締役 清水 治
 設立年月：1949（昭和24）年7月 / 資本金：4,000万円
 売上高：16億800万円（2024(令和6)年12月期）
 従業員数：50名（正社員40名、非正社員10名）
 事業内容：電着塗料・めっき・各種表面処理薬品の開発、製造、販売及び受託加工



■進出計画概要

進出場所：橋本市あやの台四丁目19番 外3筆
 （あやの台北部用地区画4）
 敷地面積：35,371㎡
 雇用予定：18名（地元雇用15名、転入雇用3名）
 投資予定：約25億円（建物、設備）
 操業時期：2028(令和10)年3月操業開始予定



3/11 協定調印式にて
 (左から)田中博晃 橋本市議会議長、平木哲朗 橋本市長、清水 治 代表取締役、杉本吉美 伊都振興局長

●アサヒ飲料（株）から和歌山県産南高梅を使用した炭酸飲料『三ツ矢梅ソーダ』が発売中です!!

県では、発信力のある大手食品企業等と連携して、広く県産食材をPRし、更なるイメージアップとファンづくりに取り組んでいます。

この度、アサヒ飲料（株）より、生産量日本一の和歌山県産南高梅を使用した、これからの季節にぴったりの炭酸飲料が全国で好評販売中です。

期間限定販売となりますので、皆さんこの機会に是非お試しください。

- 【商品名】三ツ矢梅ソーダ
- 【発売日】3月31日（火）（9月までの販売を予定）
- 【発売地域】全国
- 【果汁分】1%
- 【容量】500ml
- 【希望小売価格】200円(税別) / 216円(税込)

素材にこだわり、南高梅のシロップと果汁を使用した本格的な梅ソーダで、爽やかな梅の香りと甘酸っぱい味わいが特長です。
パッケージは、南高梅の本格的なおいしさがイラストと色で表現されており、「和歌山県共同開発商品PRマーク」が付されています。
食塩相当量 0.11g/100ml を含有しており、熱中症対策にも適しています。



●せかい いさん こうやさん けいみち 世界遺産高野参詣道 ちょういしみち（町石道） とざん 登山を開催します!!

世界遺産高野参詣道（町石道）は、弘法大師空海が高野山を開創して以来、聖地高野山へと至る表参道として、多くの人々に親しまれてきました。

道中には、参詣の道しるべとして「町石」が建てられています。「町石」は、高さ3メートルを超える五輪塔形の石柱で、根本大塔を起点に慈尊院まで180基、奥之院弘法大師御廟まで36基あり、その8割以上が鎌倉時代に建立されたもので、現在もなお昔の面影を色濃く残しています。

町石道を歩きながら、悠久の歴史と信仰文化に触れる特別な体験を、是非この機会にお楽しみください。

開催日：5月24日（日）*小雨決行・荒天中止

受付：午前7時30分～午前9時

受付場所：九度山町役場（和歌山県伊都郡九度山町九度山1190）

*九度山町役場の駐車場は利用できません。公共交通機関をご利用ください。

参加費：1,000円

行程：慈尊院（スタート）～ニツ鳥居～矢立～大門～壇上伽藍（ゴール）

*かなり体力を要する、健脚者向けのコースです。

*行程約20km、標高差約700m、所要時間約7時間

*途中お疲れの方や、午後2時以降「矢立」を通過される場合は、無料のシャトルバスでゴールまでお送りします。

申込み：原則として、事前申込み（URL又は二次元コードから）

<https://logoform.jp/form/WEVN/1391078>

問合せ先：世界遺産高野参詣道（町石道）登山実行委員会事務局

（伊都振興局地域づくり部内）Tel. 0736-33-4900



●文化財の魅力を発信！「わかやまの文化財」の御案内

国宝 36 件【全国 6 位】、重要文化財 400 件【全国 7 位】をはじめ、全国有数の“文化財の宝庫”和歌山県。

県教育委員会では、全国・全世界に誇り得る“宝”である文化財の魅力を知っていただくため、2024(令和 6)年 3 月に刷新した①文化財・

文化遺産ポータルサイト「わかやま

の文化財」に加え、本年 1 月からは②Instagramアカウント「わかやまの文化財」も開設し、“二刀流”体制で魅力発信に取り組んでいます。

近年、少子高齢化が急速に進行する中で、これまで文化財を守り伝えてきた地域の過疎化や担い手の不足が深刻化しています。文化財を未来に引き継いでいくためには、世代を問わず、また、お住まいになっている地域にかかわらず、皆さんからの御理解と御協力が欠かせません。

①ポータルサイトは、いつでも、どこからでも、県内の文化財を知り、学び、楽しむための「窓口(ポータル)」として親しんでいただけるよう、文化財情報の蓄積・公開はもちろん、「文化財マップ」「文化財クイズ」などの機能・コンテンツの充実も図っています。

また、写真がメインとなる②Instagram(SNS)では、視覚的・直感的に文化財の魅力を発信し、普段文化財にはあまり馴染みのない方々との接点も作れるよう、定期的に県内の文化財を御紹介するほか、現地説明会などのイベント情報も積極的に発信していく予定です。

二つの「わかやまの文化財」を通じて、「和歌山はすばらしい」「本物を見に行きたい」と思っただけけるよう、“宝”として守り伝えていく意義を御理解いただけるよう、引き続き取り組んでまいります。

なお、県教育委員会では、ふるさと和歌山応援寄附を活用させていただきながら、市町村や民間事業者(法人・団体・個人)が行う国・県指定文化財の保存修理・整備などを支援しています。

わかやまの文化財の保護に一層の御協力を賜りますようお願いいたします。



文化財・文化遺産ポータルサイト
「わかやまの文化財」
インスタグラム



【ポータルサイト】



【Instagram】



●「企業版ふるさと納税」で和歌山県の取組を応援しませんか？

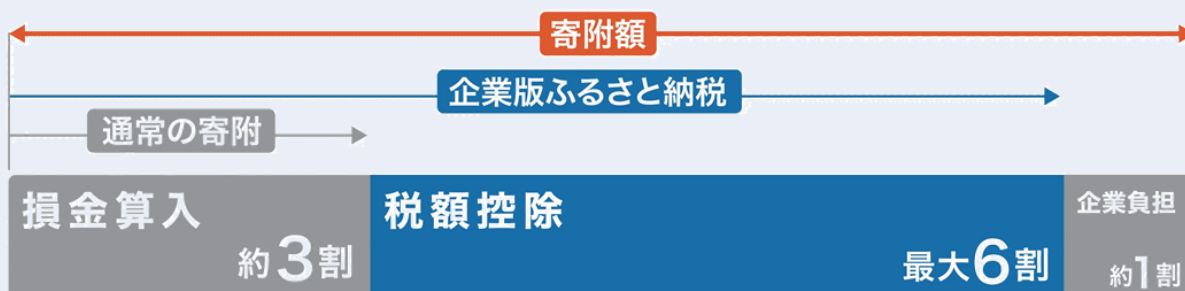
企業版ふるさと納税とは、企業の皆様が寄附を通じて地方公共団体の地方創生プロジェクトを応援した場合に、税制上の優遇措置が受けられるほか、様々なメリットがある仕組みです。

和歌山県では、この制度を活用し県の地方創生の取組を応援していただける企業の皆様を募集しています。

企業版ふるさと納税とは

- 「企業版ふるさと納税」は、国が認定した地域再生計画に位置付けられる**地方公共団体の「地方創生プロジェクト」**(*)を応援するために企業様が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組みです。
*和歌山県の主な寄付対象事業(2026年度)は次ページに掲載しています。
- 損金算入による軽減効果(寄附額の約3割)を含め、最大で**寄附額の約9割にあたる法人関係税が軽減**され、実質的な企業様の負担が約1割まで圧縮されます。

【税軽減のイメージ】



- *本制度を活用できるのは、**和歌山県外**に本社がある企業様のみです。
- *1回当たり**10万円以上**の寄附が対象です。
- *寄附を行うことの代償として経済的な利益を受けることは禁止されています。

企業様のメリットについて

- 社会貢献に取り組む企業としての**PR効果**が期待できます！
- 企業様と県との間で、**新たなパートナーシップ構築**の可能性が広がります！
- 県をはじめ、地方創生プロジェクトに関わる多様な主体との新たな関係構築の可能性が広がります！

詳細はこちらから

⇒<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/022200/d00204504.html>

お問い合わせ先：和歌山県 地域振興部 地域政策局 地域振興課 企画調整班

TEL：073-441-2371

MAIL：e1001001@pref.wakayama.lg.jp

*電話、メールのほか、訪問対応も可能ですので、お気軽にご連絡ください。





和歌山県の 主な寄付対象事業

本県では、
変化に**挑み変える**要素と、変化に負けずに
守り抜く要素をうまく組み合わせながら、
未来の県民にも誇れる、**新たな発展の形**を
築いていくことを目指しています。



地域防災力の向上コース



「国際化・スポーツ・
文化芸術」応援コース



まちなぎわい創出・
地域づくり応援コース



持続可能な観光地域
づくり推進コース



未来の地球を守るコース
～脱炭素・循環型社会・自然共生
社会の実現に向けて～



いのちと安全を守るコース
～殺処分ゼロへ。交通事故ゼロへ～



和歌山子ども
まんなか社会推進コース



県民の健康応援コース



宇宙へ飛び立て！
スペースエントランス
わかやま推進コース



学びから挑戦へ、挑戦から成長へ！
新たな地域キープレイヤー
創出コース



持続的に発展するわかやまの
農林水産業コース



安全・安心でくらしやすい
まちづくりコース



和歌山らしい教育を
めざしてコース



文化芸術活動・地域
資源継承の応援コース

* 詳細なプロジェクト内容については、
右記二次元コードよりご覧いただけます。



●ふるさと和歌山応援寄附の御案内

ふるさと納税制度は、「生まれ育ったふるさとに貢献できる制度」、「自分の意思で応援したい自治体を選ぶことができる制度」として創設されました。

和歌山県では、ふるさと納税制度の原点に立ち返り、「和歌山を応援したい」「この取組を支援したい」というお気持ちから、返礼品を設けずに御寄附を頂く寄附メニューとして、ふるさと和歌山応援寄附【わかやま未来応援型】、【教育環境充実型】と、「和歌山県の地場産品を応援したい」というお気持ちから、返礼品を選んでいただける【県産品応援型】を募集しています。

*【県産品応援型】では、和歌山県外にお住まいで11,000円以上の御寄附を頂いた方に和歌山県の県産品をお選びいただけます。

ふるさと和歌山応援寄附についての詳細は、和歌山県のホームページ上の「ふるさと和歌山応援サイト」に掲載しています。

これからも、ふるさと和歌山応援寄附に御協力いただきますようお願い申し上げます。

★お問合せ・申込窓口★

〒640-8585

和歌山市小松原通一丁目1番地
総務部総務管理局税務課

電話 073-441-2186 (直通)

FAX 073-423-1192

E-mail: furusato-ouen@pref.wakayama.lg.jp

ふるさと和歌山応援サイト

検索

ふるさと和歌山応援サイトの
2次元コードはこちら

県産品応援型 教育環境充実型 わかやま未来応援型



●ふるさと和歌山応援寄附を活用して行う県の取組

①わかやま未来応援型（返礼品無し）

- 地域における防災力の向上
- 和歌山県スポーツキャンプ誘致推進
- 大学生等による和歌山県内での地域貢献活動の推進
- 地域づくり団体等による関係人口創出拡大事業の推進
- 「交通空白」の解消・持続可能な地域公共交通の再構築
- eスポーツの推進による新たな若者文化の形成と地域の活性化
- デジタルクリエイティブ拠点の創出
- “脱炭素先進県わかやま”を目指す取組の推進
- こどもの居場所づくり
- チャレンジドの社会参加促進
- 障害福祉分野における介護テクノロジー導入の推進
- 医療と福祉のDX推進
- 和歌山を宇宙のまちにしよう！
- 地域の農地を守り、次世代に引き継ぐ取り組みの推進
- 県アンテナショップ「わかやま紀州館」を活用した県産品の魅力発信
- 希少な和歌山県産ブランド和牛の認知度向上
- 被災農家の経営再建を支援
- 和歌山県農林大学校の学生活動支援
- 和歌山県立自然博物館リニューアル応援
- 和歌山県立近代美術館（MOMAW）の活動を応援し、豊かな文化を創る
- 和歌山ミュージックアカデミー U18

②県産品応援型

- 生涯スポーツと文化の振興
- がん対策の充実
- 犬猫の殺処分ゼロを目指す活動への支援
- 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全や活用
- 南紀熊野ジオパークの推進
- 地元企業への就職を促進する奨学金返還支援
- 学校図書館や県立図書館の蔵書の充実
- わかやまの美しい海づくり
- わかやまの文化財の保護
- 大切なふるさとの森を守り育てる
- わかやまのナショナルトラスト
- わかやまの農林水産業の振興
- 子育て支援の充実

③教育環境充実型（返礼品無し）

- 子どもたちの教育環境の充実

皆様から頂いた寄附金の成果につきましては、「ふるさと和歌山応援サイト」などで報告させていただきます。

* 最新の情報は、主催者等へお問い合わせください。



イベント情報（5月～7月）

開催日・時期	行事名	場所	問い合わせ先
5月3日	イノブータン王国建国 41周年祭	すさみ海水浴場 (すさみ町)	イノブータン王国建 国祭実行委員会 0739-55-2293
5月4日 ～5日	紀州九度山真田まつり	道の駅「柿の郷くど やま」芝生広場 (九度山町)	真田祭実行委員会 0736-54-2019
5月5日	伊作田稲荷神社 御田植神事	伊作田稲荷神社 (田辺市)	田辺観光協会 0739-26-9929
5月10日	みやこ姫よさこい祭り	御坊総合運動公園 (御坊市)	みやこ姫よさこい祭 り実行委員会 0738-32-0088
5月17日	和歌祭	紀州東照宮 (和歌山市)	東照宮会館 073-444-0808
6月14日	紫陽花祭	熊野那智大社 (那智勝浦町)	熊野那智大社 0735-55-0321
7月7日	七夕まつり	島之内商店街・ 広橋周辺 (湯浅町)	七夕まつり実行委員会 0737-64-1112
7月14日	扇立祭	熊野速玉大社 (新宮市)	熊野速玉大社 0735-22-2533
7月24日 ～25日	田辺祭	鬨鶏神社等 (田辺市)	鬨鶏神社 0739-22-0155
7月30日 ～31日	茅輪祭（輪くぐり）	伊太祁曾神社 (和歌山市)	伊太祁曾神社 073-478-0006

自然・風物情報（5月～7月）

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
5月3日	海水浴場開き	白良浜（白浜町）	南紀白浜観光協会 0739-43-3201
5月上旬 ～中旬	ぶどう山椒 実山椒収穫期	有田川町	清水行政局産業振興室 0737-22-7105
5月中旬 ～下旬	あらぎ島 田植え	あらぎ島 （有田川町）	清水行政局産業振興室 0737-22-7105
5月下旬	ホタル鑑賞の夕べ	日高川町玄子地区	日高川町商工会 0738-23-3434
6月上旬 ～6月下旬	養翠園のアジサイ見頃	養翠園 （和歌山市）	養翠園 073-444-1430
6月中旬	玉川峡のホタル見頃	九度山町丹生川地内	九度山町観光協会 0736-54-2019
6月中旬 ～下旬	びわ出荷最盛期	海南市下津町	海草振興局 農業水産振興課 073-441-3378
7月上旬 ～8月下旬	ぶどう山椒 乾燥山椒収穫期	有田川町	清水行政局産業振興室 0737-22-7105
7月～8月	もも出荷最盛期	海南市高津地区	海草振興局 農業水産振興課 073-441-3378

～編集後記～

令和8年度がはじまりました。真新しいスーツを着て颯爽と歩く新社会人の方々や、少し大きめの制服を着て登校する新入生たちの姿を見ると、私自身期待と緊張感を持って入庁式に臨んだ日を思い出します。今年度、和歌山県では203名の新規採用者に辞令が交付され、宮崎知事は「県民の中に入り込み、多くの対話をするのが大切です。対話を重ねてAIにできない仕事に取り組んでほしい。」という訓話をされました。新たな一歩を踏み出す彼らの新生活が実り多いものとなるよう願っています。

ゴールデンウィークが近づくと、みかん畑で甘く爽やかな香りが漂い始め、その白い花にはミツバチや蝶が集まります。我が家の庭にある1メートルほどの高さのみかんの木にも毎年アゲハ蝶がやってきて卵を産みます。卵から孵った幼虫がみかんの葉っぱを食べつくしてしまうのですが、小さな木が小さな命をつないでいると思うと愛おしく感じます。ところで、柿の木にはどんな花が咲くかご存じでしょうか。5月頃、柿の葉に隠れるようにひっそりと白黄色の小さな花をつけます。目立たなく見過ごされることも多い柿の花ですが、秋には大きな柿の実がなって私たちを楽しませてくれるのですね。

新年度に入ってから最初の和歌山だよりでした。今年度も和歌山にまつわるタイムリーな話題を皆さんにお届けできるよう編集部一丸となって頑張っています。

今回も最後まで御覧いただき、ありがとうございました。

知事室 秘書課長 魚井 慎吾



★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ではカラーの紙面を楽しんでいただけますので、是非御覧ください。

和歌山だよりに対する御意見・御感想をお聞かせください。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報を御提供ください。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。（下記のFAX（様式自由）、E-Mail等でお願います。）

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp



県ホームページ
二次元コード



ふるさと和歌山
応援サイト二次元コード

2026年（令和8年） NO.190

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2026

* 個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。

